

1 1月

モンタナは熊本とは気候が大変異なります。とても乾燥していて夏は涼しく、冬はマイナス20度以下にもなります。私たちが留学する前の年では10月から雪が降ったようですが、今年は11月に初雪を見ることができました。私はずっと熊本に住んでいてまともに雪を見たことがなかったので、溶けずにずっと積もって一面真っ白になる雪景色にとっても感動しました。はじめはとても興奮して、友人と雪のお城を作ったり雪合戦などをして遊んでいたのですが、1カ月過ぎると寒すぎて外に出るのもおっくうになってきます。雪が降りすぎて車が運転できなかつたり、道路がスケートリンクみたいに滑りやすかつたりと、雪国ならではの苦勞もたくさんあり、とてもじゃないけれど、一生ここに住むのは無理だな、と雪慣れしていない私は個人的に思いました。



11月の第四木曜日には **Thanks giving** という大きなイベントがあります。この行事は感謝祭という意味でアメリカへの最初の移住者の初めての収穫を祝う日として信じられています。この日はターキーをはじめ、伝統的な料理が食卓に並び、家族が集まりのんびり過ごします。学校も一週間ほど休みになるので、私もホストファミリーと一緒ににぎやかな休暇を過ごしました。ターキーを食べ、子供たちと遊んだり、家族とゲームをしたりしてまったりと過ごしました。

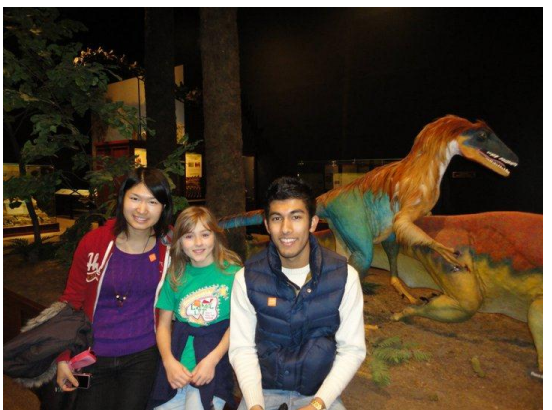


そして、**Thanksgiving** 後にもうひとつのビッグイベントがあります。それは **Black Friday** と呼ばれる超バーゲンセールです。この日はどこの店でも朝早くから開いてセールを行います。さすが、アメリカ。バーゲンの仕方もビッグです。その前の年では激安のカメラを狙って発砲事件が起こったという程のにぎわいぶりです。その話を聞いていたので少し怖かったのですが、私も友人に誘われて朝の5時から参戦しました。友人の中に

は朝3時から買い物に出た、というつわものもいます。さすが、**Black Friday** のセールというだけあり、通常の半額以下で服を買うことができ大満足でした。感覚的には、日本のお正月の初売り、といったところでしょうか。朝3時から店の開店時間前にもたくさんの方が集まり、行列をつくっていました。

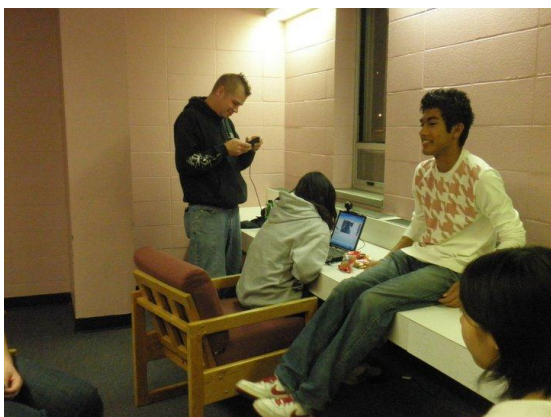


最後のビックイベントとしては、**International Studies Club** が企画したボーズマン旅行です。この企画は Club の Activity Coordinator の高藪さんが計画してくれました。雪のせいで日程が変更になり、参加人数は激減してしまいましたが、とても楽しい旅行になりました。ボーズマンは私たちの大学があるビリングスから2時間ほど車で行ったところがあり、ビリングスよりもたくさんの雪が積もっていました。私たちは、ボーズマンにある **Museum of Rocky** という恐竜の博物館で恐竜の骨を見たり、ホットスプリングでゆっくりしたり、スレディングといって、雪の中をそりで滑ったりしました。どれも熊本では味わえないとても貴重な体験でした。



12月

Thanksgiving と楽しい旅行のあとは Final Exam という大きな壁が私たちを待っていました。アメリカ人と同じ授業を受けるだけでも、とても大変なのですがテストとなると、アメリカの学生の3倍以上の勉強が必要なので毎日勉強漬けの日々でした。私たちの通う MSUB には勉強をサポートしてくれる Academic Support Center というところがあり、レポートの添削や授業でわからないところを質問したりできる施設があります。私も Writing のレポートを毎授業前に添削してもらっていました。また、寮にも Study room という勉強専用の部屋があり、ルームメイトと共同で部屋を使っているので、勉強をするときにはよく利用していました。図書館にも静かに勉強できるスペースが確保されており、勉強する環境はばっちり整っています。このような施設をフルに活用して、時には朝の3時まで勉強したりして、なんとか Final Exam を無事終え、秋セメスターが終了しました。



(Study room の様子です。みんなで集まって勉強することも多かったです。これは休憩中ですね。)

テストが終わると待ちに待った冬休みです。私たちはホストファミリーのところに滞在させてもらい、一緒にクリスマスをお祝いしました。クリスマス前には、クリスマスショッピングといって、プレゼントの買い物に追われました。今までの留学生活でお世話になった人たち、友人などたくさんの人たちに感謝の気持ちもこめてのプレゼント選びはとても楽しかったです。

クリスマス前には、ホストマザーの赤ちゃんが生まれ、とてもハッピーなクリスマスになりました。生まれたばかりの赤ちゃんを初めて抱かせてもらったのですが、本当にかわいくてホストファミリーにとって素敵なクリスマスプレゼントだったと思います。



休暇中には、友人の Melody に誘われて、キャロリングというボランティアに参加してきました。このボランティアは、寝たきりや自分で自由に動けないお年寄りの人の家を訪問

し、みんなでクリスマスソングを歌う、というものです。私は歌があまり得意ではなく、初めは少し恥ずかしかったのですが、お年寄りのみなさんが喜ぶ姿を見て、とても心が温かくなりました。とても素敵なボランティアだと思ったので、日本でもぜひ広まってほしいなあと感じました。その後、Melody の家に集まり、夕食をごちそうになり、みんなでゲームなどをして楽しく過ごしました。



また、アメリカ人の友人の家で留学生が集まりクリスマスパーティをしました。たくさんの友人が集まり、みんなでご飯を食べてゲームをして、とわいわい過ごし、とても楽しい1日になりました。左下の写真ではお菓子の家を作っています。



そして、クリスマス当日。私たちはホストファミリーと一緒に教会へ行きました。ホストファミリーが通う教会はとてもモダンで私も教会というよりはコンサートを見ているような気持ちで楽しむことができました。また、驚くのはプレゼントの数！ホストファミリーには生まれたばかりの赤ちゃんを含めて4人の子供たちがいるのでプレゼントの量が半端ではありません。一人につき約15こ以上のプレゼントが子供たちを待っています。アメリカは日本以上に大量生産、大量消費社会なのでプレゼントも多ければ多いほうがいい、という考え方なのだと思います。日本の子供たちはこんなにももらうことはないのだから羨ましいかぎりです。しかし、次々とプレゼントをもらい結局どれが誰からのプレゼントなのか分からないほどなので、プレゼントをあげた人への感謝の気持ちやものを大切にすることが育たないのではないかと少し心配になりました。アメリカはキリスト教国でもあるので、クリスマスは家族みんなで教会へいきお祝いするというとても神聖な行事なのですが、その一方で商業化されたイベントになりつつもある、と感じました。



1月

長い冬休みの中で一番の思い出と言ったら12月27日～1月7日にかけて行った、東海岸の旅行です。高藪さん、田上君、そして私の日本人3人とオーストラリアからきた日本人とハーフの男の子、仲が良い中国人の女の子、というメンバーで旅行したので、旅行中もずっと英語を使っていました。私たちは、ボストン、ニューヨーク、ワシントンDCと3つの大都市を旅行してきました。どこも大都会で圧倒されつつも、今までモンタナのアメリカしか見ていなかったのもので、モンタナ以外のアメリカを知ることができてすごくいい経験になりました。アメリカは国内でもカルチャーショックを受けるほど、都市によって雰囲気や文化がとても違います。そのくらいアメリカは大きいです。予想外のハプニングに見舞われて、大変なこともありましたがとても楽しい旅行になりました。

まずは、ボストン。歴史が古く、町並みもヨーロッパ風のものが多かったです。とてもきれいな町でした。MITやハーバードといった有名大学も多いのでその見学にも行きました。左下の写真はロブスター。海岸沿いなのでシーフードも有名です。右下の写真はハーバード大学にて。右足を触ると頭がよくなるという噂の像と一緒に写真をとりました。



そして、ニューヨーク。さすが、アメリカの中心、一番の大都会です。人種も様々で私たちはずっと白人ばかりのモンタナにいたのでカルチャーショックを受けました。観光するところもとても多く、回りきれないほどでした。左下の写真はエンパイアビルディングというニューヨークー高いビルからみた光景です。大都会！そして、右下は自由の女神との写真です。アメリカに来たからには、ぜひ自由の女神を見に行くことをお勧めします。ニューヨークは本当になんでもある街で、私たちは偶然にも博多ラーメンの店を発見しました。モンタナでは日本食レストランを探すことさえ難しいので、とても感動しました。日本の食文化が海外でも人気がある、ということを実感しました。



最後に、ワシントンDC。ボストンやニューヨークとまた雰囲気が全く異なり、政治の中心、といった整った雰囲気でした。私たちは、テレビでおなじみの国会議事堂やホワイトハウス、そして博物館などに見学に行きました。なんとといっても、ワシントンDCでは博物館、美術館が無料で入れる、というところが大きな魅力です。映画になったナイト・ミュージアム舞台となった博物館もここに 있습니다。写真左下は国会議事堂。右下はリンカーンの像です。



旅行の後にはたのしい冬休みも終わり、春セメスターが始まりました。私が春セメスターでとった授業を紹介します。

Religious Quest

世界の様々な宗教について偏らない目線で学ぶ授業です。授業外に6つの異なる教会を回ったり、イベントに参加したりしてレポートを書くことが必須で、大変でしたが、とても興味深い科目でした。異文化理解にも役立ったと思います。

Intercultural communication	異なる文化を持った人たちとどうやってコミュニケーションをとるかを学ぶ授業です。留学生の意見も聞かれることが多いので、授業中に活躍できる科目です。課題も多く、最後は6枚のレポート、プレゼンテーションとハードでしたがとても楽しい授業でした。
Public speaking	効果的なスピーチの方法を学び、実践する授業。クラスの前に行ってスピーチを行います。全部で4回ほどしました。アメリカ人の生徒たちの前でスピーチをするのはとても勇気がいることでしたが、とてもためになる授業でした。英語を話す自身もつきました。
Introduction to drawing	これは、鉛筆画の授業。息抜きがわりに好きな美術の授業を受けました。授業中に美術館へいくこともあり楽しい授業でした。
Internship	私は、 Retort という学内新聞を作っているところへインターンシップに行きました。実際にインタビューへ行き記事を書かせてもらいとても貴重な体験になりました。自分が書いた記事が載っている新聞が発行されると達成感があります。
Belly Dancing	これも、楽しみで受けていた、ベリーダンスの授業。秋 Semester でも受けていたので、今回は発展。最後には、衣装をきてステージで発表もしました。授業外で先生がショーをする機会があったので、よく見に行っていました。



上の写真は、左は私が描いた鉛筆画の作品で、右はベリーダンスのショーのときの写真で

す。とても楽しい思い出です。

春セメスターの授業は秋と比べてもレベルが高かったので、授業について行くのにとっても苦勞しました。もちろんどの授業もアメリカ人と一緒に受けているので、アメリカの生徒の3倍以上の努力をしなければいけません。宿題や予習に追われ、平日は2~3時間しか寝ていない、という日も多く大変でしたが、周りの協力もあり、無事どの授業もAの評価をいただきました。初めは絶対にできないと思っていましたが、なんとかやり遂げることができ、とても達成感がありました。できないと思ひこむよりも挑戦する重要さ、周りの人への感謝の気持ちを学んだセメスターでした。